

表1 平成19年度ダイオキシン類に係る環境調査結果(総括表)

〔 単位: 大気 pg-TEQ/m<sup>3</sup>  
 水質 pg-TEQ/L  
 底質 pg-TEQ/g  
 土壌 pg-TEQ/g 〕

環境媒体	調査の種類 又は地域分類 (水域群)	地点数	検体数	環境基準 超過 地点数	調査結果		
					平均値	最小値	最大値
大気	全体	740 ( 809 )	#### ( ##### )	0 ( - )	0.041 ( 0.057 )	0.0042 ( 0.0042 )	0.58 ( 11 )
	一般環境	565 ( 601 )	#### ( ##### )	0 ( - )	0.041 ( 0.041 )	0.0042 ( 0.0042 )	0.58 ( 0.58 )
	発生源周辺	148 ( 177 )	500 ( 544 )	0 ( - )	0.040 ( 0.11 )	0.0050 ( 0.0050 )	0.28 ( 11 )
	沿道	27 ( 31 )	104 ( 108 )	0 ( - )	0.044 ( 0.045 )	0.014 ( 0.014 )	0.11 ( 0.11 )
公共用 水域 水質	全体	####	####	45	0.21	0.0097	3.0
	河川	####	####	44	0.25	0.0097	3.0
	湖沼	91	106	1	0.16	0.021	1.5
	海域	319	352	0	0.072	0.0097	0.64
公共用 水域 底質	全体	####	####	8	7.4	0.044	290
	河川	####	####	8	6.6	0.044	290
	湖沼	82	83	0	10	0.23	85
	海域	271	273	0	10	0.11	120
地下水質		759	762	2	0.055	0.0076	2.4
土壌	合計	####	####	0	3.1	0	170
	一般環境把握調査	991	####	0	2.7	0	170
	発生源周辺状況把握調査	294	294	0	4.3	0.000060	98

注1: 平均値、最小値及び最大値は、各地点の年間平均値の平均値、最小値及び最大値である。

注2: 大気については、環境省の定点調査結果及び大気汚染防止法政令市が独自に実施した調査結果を含む。  
 なお、下段( )内は全調査地点の数値である。

注3: 公共用水域底質の環境基準超過地点数は、年1回以上環境基準値を超過した地点数である。

注4: 地下水質については、このほかに汚染井戸周辺地区調査(2地区8地点 0.057 ~0.11 pg-TEQ/L)が実施された。

注5: 土壌については、このほかに範囲確定調査(2区域210地点、219検体)及び、対策効果確認調査(1区域6地点、6検体)が実施された。